

★ まちづくり ★ ニュース



ホームページ

<http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Icho/3732/>

117号

2010年2月22日



ときわ台の景観を守る会

ときわ台まちづくり委員会

代表 鈴木博之 近藤洋子

事務局 島田晴子 tel・fax 3960 - 3869

協力金振込先 郵便局00110-3-739728 ときわ台の景観を守る会

○ 「セピア色の写真展」 予告

2丁目のTさんから昭和20年代に活躍していた学生会についてのことをお教えいただくことができました。同時にそのころの街の写真2葉を提供していただきました。当時の街路樹の様子などがよくわかり興味深いものです。

写真展は4月29日(木)～5月11日(火)まで(ギャラリー服部)の予定です。ちなみに常盤台小学校3期生のあるクラスは、それに合わせてクラス会を設定するそうです。

当時小学校1年～6年生と学生会に関係した方は、ご本人や知り合いが写っているかもしれません。また、おじいさんやおばあさんの子供時代に会えるかもしれません。ご自分の前にどんな人が住んでいたか、古い地図で分かるかもしれません。どうぞ昔の常盤台に会いに来てください。

お 願 い

昭和21年に常盤台学生会調査部が作成した地図をお持ちの方、または関連した情報をお持ちの方、ご連絡ください。

○ 裁判の傍聴に行きましょう

最近、裁判員制度導入や政権交代の影響か、従来圧倒的に行政有利で進められてきた行政訴訟でも、「鞆の浦」判決や新宿「狸の森」判決など、まともな判断が示されてきました。やっと始まった改革の兆しを常盤台でも実感したいものです。

駅前の高層建築物は常盤台にふさわしくないという思いは住民の総意です。住民は5500以上の署名を以って都市建設委員会に陳情しています。一方で開発審査会・建築審査会を経て提起されているこの行政訴訟は、「景観」権という新しい領域の確立に、大きな意義を持つでしょう。

次回 3月2日 11時半

東京地裁522号法廷

原告のひとりが意見陳述する予定です。

○ 転売に次ぐ転売、最終のババをつかむのは板橋区民？

—上板橋南口再開発計画—

隣の上板橋南口再開発問題は、今また大事な局面に差し掛かったようだ。

あまり長い間、住民の3分の2の賛成が得られないまま推移しているので、12月26日に都の検討委員会に上ったそうだ。どう説明をしたのかわからないが、辛うじて原案どうり推進のお墨付きを得たとか。ところが元土地公社所有の隣接地が、土地ころがしの挙句に、住民への代替用地として板橋区が買い上げる予定という。しかし現所有者(株)プロパストは経営不振で、物件は差し押さえられ、競売にかけられるらしい。はじめから最終的に税金で買い上げさせる目的で、4回も5回も転売されたのではないかという疑惑を生む。URが区の再開発計画を知りながら、民間に売ってしまったことも謎である。その中で利益を吸い上げたのは誰なのだろう。

税金をこんな所で使わないでもらいたい。問題の土地を無理に買い上げず、なによりも地元住民の希望を入れて、妥当な再開発案で出直すべきではないのだろうか。

「地区計画」づくりの費用

野放しの建築基準法では良い町並みは守れないのが分かってきたこの頃、地区計画づくりに乗り出す地域が増えていきます。

板橋区では中台が急ピッチで取り組み中ということですが、町全体を考えると、個々については諸刃の剣で自分も規制を受けることになり、私権に固執する人はどこにでもいるもので、中台でも簡単なことではなく、まとめ役は苦勞していることでしょう。

地区計画の成立には住民の三分の二の同意が必要なのですが、誰が権利者なのか登記簿を調べなければなりません。そのための費用が何十万とかかり、どこもその費用の捻出に頭をいためるのです。常盤台の「しゃれ街ガイドライン」の時は、東京都の公用ということで無料提供してもらいました。常盤台の場合は何百万になったはずですが。

どこであろうと、住民がこのようなまちづくりを行おうとするときは、地方自治体は積極的に協力すべきでしょう。登記簿の無料提供は当然のことだと思います。「景観ネット」の井上赫朗さんによると、武蔵野市などはとくに実現しているとか。

それらの情報を元に、中台も板橋区と交渉し、無料提供を勝ち取ったそうです。

これは小さいけれど大きな一歩です。この費用の心配がなくなることは、地区計画を推進しようとする地域にとって朗報となりません。私たちの運動が、少しでも役立つことを喜びたいと思います。

放置自転車数NO1!!

駅前の放置自転車は、撤去作業が週一回ぐらい入るようになったので、一見減ったようですが、実はロータリーを離れた道に放置する数が増えています。

りそな銀行脇の道では、歩道を放置自転車が占領しているので、歩行者はしかたなく車道を歩いている始末です。

景観を守る会では、去年も区の自転車対策係に改善を申し入れましたが、二月十日に課長・係長と話し合いを持ちました。今回は豊島区の市民運動で池袋の放置自転車問題を解決した実績を持つYさんと、成増で実際に駐輪場を運営している業者のSさんと同行。Sさんの綿密な調査に基づく具体的な提案を持って行ってきました。

常盤台小学校横の無料駐車場は二十年以上も前に“暫定”として周囲住民に了解を求めたそうです。それ以来区は何も対策を取らぬまま、今では約六百台が置かれています。道路上を不法に占拠しているわけで、町会からも陳情があり、採択されて板橋区議会で可決されたそうです。それでも効果なしです。あの六百台は不法駐輪に数えていないそうです。が、数に入れればなんと常盤台は都内ワースト1に躍り出るので。ナンバー1が好きなのは結構ですが・・・。

代替地がない、当面は他の駅前が優先、地下駐輪は無理、東上線高架化もずっと先、いろいろ弁解は聞かされましたが、来月下旬、回答をもらいこ行く予定です。

常盤台公園のはなづくり

公園の脇に掲示板があります。その下に昨年水仙の球根を植えました。数輪が咲き、残りのつぼみも膨らみ、丁度見ごろになっていました。

先日そばにどうも挙動不審な人がいるので気になり、通り過ぎてから物陰から見ていると、水仙を掘りはじめたのです。ポリ袋に入れて持ち去る様子。どうしようと胸がドキドキしました。でも、言わなくては！と急いで跳んで行き、「おじさん、それは皆のものです。元に戻してお花はここに来て楽しんでください」と言うと、にこやかに「はい」という返事。穏やかに話がついたのが嬉しくて「有難うございました」となんだかお礼まで言ってしまった。

その翌日のこと、掲示板の下にぎやかな色取りが見えます。なんと、赤いゼラニウムやシネリアなどが植えられているのです。水やりもしてありました。直ぐにあの人だと分かりました。お詫びの気持ち、確かに受け取りましたよ。でも、多分このニュースを読んでもくれないでしょう。

Kさんから嬉しいお申し出があり、種から蒔いて育てたパンジーの苗を分けていただきました。苗を育てる場所がないのでとても助かります。角のクリスマスローズの花壇に植えました。

定例会 三月十三日(土) 七時

「ギャラリイ服部」にて